



衆院選の躍進で新しい政治をめざします
森桜ふさよし・党地区委員長を擁立

国民の財産を不当に売却した「森友学園」問題徹底追及 核兵器廃絶、自衛隊派兵など平和に背むける安倍政権に審判を！ 日本共産党は国民との共同、「野党共闘」で新しい政治をめざします



国民のかけがえのない国有地が破格の安値で売却された「森友学園」問題、自衛隊日報隠し問題など安倍暴走政治の矛盾に国民の批判が広がっています。

また27日から国連で開催された「核兵器禁止条約に向けた国連会議」に、日本政府はアメリカと同様参加せず、唯一の被爆国でありながら、核廃絶を願う世界の人々に背を向ける態度に被爆者の方々から厳しい怒りが寄せられています。

こうしたアメリカいなり、国民無視の安倍政権に対し、来るべき総選挙でキツパリと審判を下そうではありませんか。
日本共産党へのご支援をお願いいたします。

一般市民への弾圧と処罰がねらい
「共謀罪」法案を許すな！

「テロ対策は現在の法律で十分対応できるのになぜ今「共謀罪」法が必要なのか？ 日本弁護士会など広範な人々の反対、懸念が広がる中で先般「共謀罪」法案が強引に閣議決定されました。この「共謀罪」は、憲法で保障された思想や良心の自由を侵す懸念があり、これまでに3回、国会で廃案になっています。

国民の日常的な会話や通信を監視するための盗聴や内偵など捜査手段が拡大されるなど、その狙いは一般市民・団体であり絶対に許すことにはできません。

核兵器廃絶への願いこめ 広島・「被爆ピアノ」コンサートを開催

神戸町では昨年12月定例議会で「非核平和と都市宣言」を全会一致で採択し、町として非核の決意を示すことになりました。

これで揖斐郡3町と神戸町が非核宣言を實現したことから、これを記念する「被爆ピアノコンサート」が25日、神戸図書館で開催され100名が参加し非核平和を誓い合いました。谷村神戸町長など各町の首長も激励の挨拶を行いました。

このピアノは爆心地から2・6キロの地点

で被爆・損傷を受けましたが調律され、今全国で核兵器廃絶を訴えつづけています。

核兵器廃絶の情勢では、昨年12月国連総会で、核兵器禁止条約の締結交渉を開始する決議を採択する画期的な動きがありましたが、残念ながら唯一の被爆国である日本政府はアメリカとともに反対する許せない態度をとりました。

日本共産党は核兵器廃絶実現へ、被爆者が訴える国際署名に全力をあげています。

日本共産党西濃地区委員会は、予定される衆院選岐阜二区の予定候補として、党西濃地区委員長の森桜ふさよし氏の擁立を発表しました。



森桜氏は島根県出身で60歳。前回の衆院選でも二区から出馬し25%余の得票を獲得し善戦しました。

森桜氏は、今国会で争点となっている「森友学園」問題追及や戦争法廃止、原発再稼働反対など安倍自公政権の暴走政治とのたたかいの先頭に立って奮闘しています。また同時に日本共産党は「野党共闘」のたたかいにも全力をあげています。

日本共産党大演説会

とき 5月21日午後2時～
場所～岐阜市文化センター
弁士～笠井 亮 衆院議員・政策委員長

新年度の新しい事業

その一部を紹介します

◎運転免許証自主返納支援事業(30万円)

*ばらタクシーサービスの利用回数券、養老線回数券、近鉄バス回数券の中から一つ選択。

◎産業・雇用創生事業(350万円)

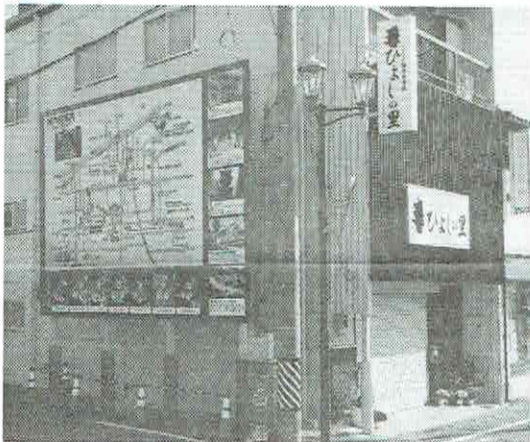
*産業支援、雇用拡大支援、就職支援など地域を担う人材の育成・定着を商工会と連携して実施

◎空家対策計画策定業務委託事業(430万円)

*適切な管理が行われていない空家などへの対策策定

◎移住定住者への養老鉄道定期券購入助成金(186万円)

*町外から養老鉄道駅周辺への移住に対する助成



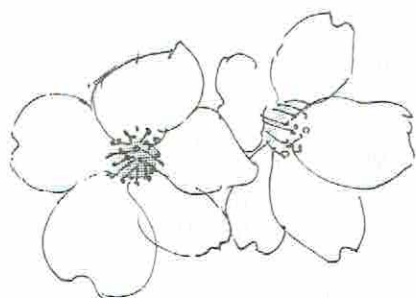
神戸町の観光拠点 交流館「ひよしの里」がオープン 577万円余の運営費を計上

神戸町の観光拠点として、交流館「ひよしの里」が3月21日、広神戸駅前に開館しました。(上写真)

交流館の役割は、町内の観光案内、サロン、展示ギャラリー、レンタサイクルなどを兼備し、町の観光拠点として期待されています。

その運営費として新年度577万円余が予算化されました。

運営時間は午前9時～午後5時で休館は火曜日。電話(五一―四七〇四)



三月定例町議会報告

高齢者、認知症対策を求める

鈴木愛子議員



神戸町3月定例議会は、総額67億円余の一般会計予算を可決して3月16日閉会しました。

新しい施策では子育て支援策の継続に加え、左表のように地域の活性化対策や高齢者の安全対策などが予

算化されました。

一般質問では鈴木議員はじめ、林、飯沼、小川、宮嶋(健)各議員の5氏が立ちました。日本共産党の鈴木議員は、高齢者の方々が安心してく

らせるまちづくりで質問を行いました。

《質問》

- ① 「ワンコインサービス」の利用内容と実績
- ② 「地域支援事業」の事業内容
- ③ 「認知症カフェ」の具体的内容
- ④ 認知症サポーターの現状と今後の増員
- ⑤ 寝たきり高齢者への理容サービス、歯科診療

《答弁の要旨》

- ① 「ワンコインサービス」は、28年度2月末で100円が226件、500円が112件と増加。
- ② 要支援認定者の訪問と通所介護は、これまで同様介護予防給付が受けられる。
- ③ 「認知症カフェ」は、現在月一回ばらの里で実施。
- ④ 現在、認知症サポーターの養成講座修了者は907名であり、年間200名目標でとりにくみたい。



⑤ 訪問歯科診療については、医師会が行政と連携し積極的にとりにくんでいる。

NHKは正確で公正な報道を 元NHKプロデューサーが講演

神戸町革新懇が総会

2月5日、平和とくらしを守る神戸町懇談会は総会を開催し、安倍政権の下で右傾化しているメディアの問題を学び交流しました。

講演にたった元NHKプロデューサーの津田正夫氏は、メディアへの政治の圧力を紹介しながら公正・中立の報道を守る重要性を強調しました。